特許協力条約

REC'D 16 JUN 2005

WIPO PCT

PCT

特許性に関する国際予備報告 (特許協力条約第二章)

(法第 12 条、法施行規則第 56 条) 【PCT36 条及びPCT規則 70]

| 出願人又は代理人 の書類記号 PCT-0409 | 今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。 | | | |
|---|------------------------------------|---------------------------|--|--|
| 国際出願番号 PCT/JP2004/010742 | 国際出願日 (日. 月. 年) 21.07.2004 | 優先日 (日.月.年) 24.07.2003 | | |
| 国際特許分類(I P C)Int.Cl. ⁷ C07H19/23,A61K31/7056,A61P35/00 | | | | |
| 出願人 (氏名又は名称) 萬有製薬株式会社 | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

| 1. この報告書は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。 法施行規則第57条(PCT36条)の規定に従い送付する。 |
|--|
| 2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で4 ページからなる。 |
| 3. この報告には次の附属物件も添付されている。 a. 「 附属書類は全部で ページである。 |
| 「 補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面の用紙(PCT規則 70.16 及び実施細則第 607 号参照) |
| 「 第 I 概 4. 及び補充概に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの 国際予備審査機関が認定した差替え用紙 |
| b. 電子媒体は全部で 配列表に関する補充欄に示すように、コンピュータ読み取り可能な形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。(実施細則第 802 号参照) |
| 4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。 |
| ▼ 第 I 梱 国際予備審査報告の基礎 ▼ 第 I 梱 優先権 ▼ 第 I 梱 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成 第 I 梱 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成 第 I 梱 発明の単一性の欠如 第 V 梱 P C T 35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明 第 V I 梱 ある種の引用文献 第 V I 梱 国際出願の不備 第 V I 梱 国際出願の不備 第 V I 梱 国際出願に対する意見 |

| 国際予備審査の請求街を受理した日 18.01.2005 | 国際予備審査報告を作成した日 01.06.2005 | | | | |
|---|---------------------------|---------|--|--|--|
| 名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915 . | 特許庁審査官(権限のある職員) 中木 亜希 | 4P 9282 | | | |
| 東京都千代田区段が関三丁目 4番 3 号 | 電話番号 03~3581-1101 内 | 線 3492 | | | |

| 第I棡 | 報告の基礎 | | | |
|---------|---------------------|---|------------------------------|---|
| | | | | |
| 1. 20 | の国際予備審査報告は、 | 下記に示す場合を | 除くほか、国際出願の | 官語を基礎とした。 |
| | この報告は、 | 気に トスダ | 現場 かん 世 地 しょ | |
| | それは、次の目的で指 | 耐によるst 出された粉調せの: | 別队人を基礎とした。 | |
| Г | PCT規則12 3万 | び23.1(b) にいう国 | 当時である。 | • |
| ŕ | PCT規則12.4に | ひる。1位元でリ国 | 原 问 位 | |
| ŕ | PCT细胞EE ov | .v.ノ国際公開 .は55.3にいう国際予 | * Mhele-I- | |
| • | 1 O 1 AZA1100. 2 X | は35.3にいり国際1 | 广偏審査 | • |
| 2 -0 | の報告は下記の出席書籍 | 若力. 甘7世 1. 1. 1. | /Nt. Man and | |
| た差替 | え用紙は、この報告に対 | gを基礎とした。 さいて「出願時」と | (法第6条 (PCT14条) し、この報告に添付し |) の規定に基づく命令に応答するために提出され ていない。) |
| . V | 出願時の国際出願書 | 類 | | |
| Г | 明細書 | | | |
| | 第 | | of 11 ments - an in | |
| | 第 | | ペーン、田願時に提出 | されたもの |
| | 笛 | | | されたもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの |
| _ | | | ~-·>*、 | 付けで国際予備審査機関が受理したもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの |
| | 請求の範囲 | | | |
| | 第 | | 項、出願時に提出 | * 10 % 3 00 |
| | 267 | | 珀ま DCT10冬 | の相合に甘せるよう。 |
| | ×17 | | 134 | A. L. L. Land Port 1994 and Alberta L. L. A. S. Commission and Co. L. C. |
| | 第 | | 項* | |
| | | | _ ^.\ | ——— 付けて国際予備番査機関が受理したもの |
| | 図面 . | | | |
| | 第 | م ر م | ジノ図 、 出願時に提出 | |
| | 第 | | ノノ凶、 山限時に提出 | されたもの |
| | 第 | | / / X *. | 付けで国際文人地分表をBB3****** |
| | ^· | | //凶*、 | 付けで国際予備審査機関が受理したもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの |
| Γ. | 配列表又は関連する | テーブル . | • | • |
| | 配列表に関する | 補充概を参照するこ | ک _ه ، | |
| | | | | · 1 |
| з. Г | 補正により、下記の書 | くっとっと | | |
| • | 1100 A 1 1 1000 A | 「大気が一円の赤でんして。 | | |
| | 明細書 | 笙 | | |
| | 請求の範囲 | 第 | | ^~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~ |
| | 図面 | *** | | 項 |
| | 配列表(具体的) | こ記載すること) | | ページ/図 |
| | 配列表に関連する | 5テープル(具体的 | | |
| | | // // (34 PARI) | に配戦すること) | · |
| | | | | |
| 1. 厂 | この報告は、補充機は | 元したとうに とん | の初生に近したとしょ | |
| • | えてされたものと認め | られるので、そのも | ク報音に称行されかつ。 | 以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超 Oとして作成した。 (PCT規則 70.2(c)) |
| | | 340 0 0 C C C C C C C C C C C C C C C C C | 田正かられんなからたもの | りとして作成した。 (PCT規則 70.2(c)) |
| | 川 明細書 | 第 | | ~-·* |
| | □ 請求の範囲 | 第 | | 面 |
| | 図面 | 弗 | | ページ/図 |
| | 配列表(具体的に | 「記載すること) | | |
| | 配列表に関連する | テーブル(具体的) | こ記載すること) | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | l l |
| | anda Ne A and and a | | | 1 |
| * 4. 13 | - 談当する場合、その用 | 紙に "superseded" | と記入されることがは | ^{ත්} බ |
| | | | | |

| 第V脚 新規性、進歩性又は産業 それを裏付ける文献及び | 上の利用可能性について 説明 | の法第 12 条(PCT35 条(2))に定める見 | 舜、 |
|--------------------------------|-------------------|---------------------------|-----------|
| 1. 見解 | | | |
| 新規性(N) | 請求の範囲 | 1-6 | 有 無 |
| 進歩性(IS) | 請求の範囲 | 1-6 | |
| 産業上の利用可能性 (IA) | 請求の範囲 | 1-6 | |

- 2. 文献及び説明 (PCT規則 70.7)
 - 1. JP 6-128283 A

請求の範囲1-6

請求の範囲1-6に記載された発明は、文献1より進歩性を有しない。

文献1には、一般式 [I] で表される化合物、及び、該化合物を有効成分とする抗腫瘍剤が記載されている。

上記一般式 [I] の定義を見ると、インドロピロロカルバゾール環の6位の窒素原子における置換基 $(-NR^1R^2)$ は、本願の-NH (CH_2) $_m$ -Rで表される置換基を包含していない。しかしながら、実施例 29、34及び 35には、それぞれ、 $-NR^1R^2$ が $-NHCH_2$ Ph、-NHCOPh及び-NHCOPy(Pyはピリジル基)である化合物が記載されていることから、上記一般式 [I] における $-NR^1R^2$ として、上記 3つの置換基に類似した $-NHCH_2$ Pyに想到することは、当業者であれば容易に成し得たことと認められる。

さらに、文献1の段落【0018】には、フリル基、チエニル基等がピリジル基と同等の置換基として例示されていることから、上記 $-NHCH_2Py$ におけるPyをフリル基又はチエニル基とした化合物に想到することも、当業者であれば容易に成し得たことと認められる。

そして、本願化合物が文献1、特に、実施例29及び35に記載の化合物に比較して、格別顕著な抗腫瘍活性を示すとも認められない。

特許性に関する国際予備報告

第VI棚 ある種の引用文献

国際出願番号 PCT/JP2004/010742

| 1. | ある種の公表された文書 (PCT規則 70.10) | | | | |
|----|---------------------------|----------|------------|--|--|
| | 出隨悉县 | () for E | 4.F.4.0000 | | |

出願番号
特許番号公知日出願日優先日(有効な優先権の主張)(日.月.年)(日.月.年)(日.月.年)(日.月.年)US 6703373 B1 [EX]09.03.200411.03.200210.09.1999

2. **書面による開示以外の開示 (PCT規則 70.9)**